

## C・LC・JC・キワニスニュース

## 物、断る勇気持つて」



## 津中央LC 小学校で乱用防止教室

薬物乱用とは、社会のルールから外れた方法や目的で、薬物を使つこと。麻酔など医療目的で使用する場合も合法であるが、反社会的目的で使うケースは、たとえ1回の使用でも犯罪となる。

多くの人が「薬物乱用は違法」と認識していても、最近では芸能人による薬物乱用が大々的に報道され、未成年による薬物乱用も一矢を擧げて、いよいよ本格化しつつある。

## 想像使い恐さ伝える



講師の水谷氏が補足説明をする

生徒に説明した。

また「薬物は

どんなルートで日本に入ってくるのですか」という質問に対し、水谷氏は

「貧しい国が外貨を稼ぐため

に、麻薬をつくって日本に密輸するケースを説いていた。

生徒達は「覚せい剤による幻覚症状」、「シンナーの吸引による身体傷害」などの危険に気付いて止めようとしても、依存症に陥つてなかなか使用を止められないことも学んだ。

水谷氏は最後に「悪い仲間を薬物乱用を勧めうれ

立芸濃小学校で6年生50人弱を対象に薬物乱用防止教室を開催した。今年2校目となる。会員の水谷千春氏が講師を務め、DVD映像を使って、薬物の怖さを生徒らに伝えた。

津中央ライオンズクラブ(津中央LC、若林浩隆会長)はこのほど、津市立芸濃小学校で6年生50人弱を対象に薬物乱用防止教室を開催した。今年2校目となる。会員の水谷千春氏が講師を務め、DVD映像を使って、薬物の怖さを生徒らに伝えた。

記念事業として実施しを行つた。活動では被災地を訪問するメンバーが活動日の前日午後9時に自動車で安城市を出発し、翌日午前7時に現地に到着。炊き出し前に宮城県の石巻市役所と女川町役場を訪問して、石川氏が個人で行確認していた。このため、れ、救援物資の寄付など、う炊き出しでも人気を集め実際の炊き出しの作業もした。

名古屋栄RCの寄付50万円で救援物資届ける

めているといい、今回も多くの住民がその味を楽に楽しんだ。その後女川町の新田地区や清水地区で炊き出しを行い、地元の住民を対象にうどんを提供した。バーや、被災地訪問前にを通じて寄付を受けた。

被災地を訪問したメンバーは、被災地訪問前にを通じて寄付を受けた。バーや、被災地訪問前に通りするオリジナルの練習会を行い、うどんさんのが「復興支援活動をしている方も多く、今回の活動がわずかでもそれらの方の励みになれたと感じた」と語っていた。

来年以降も活動を継続できれば」と語っていた。



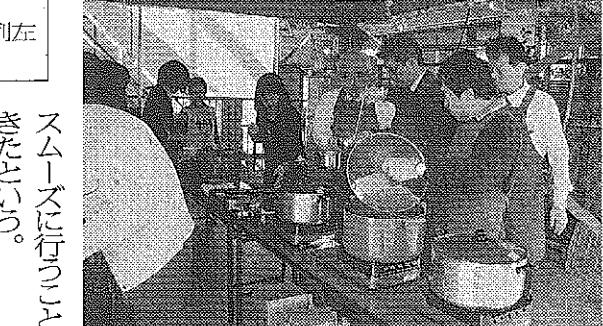
女川町で炊き出しが行われた

## 安城RCが復興支援活動

安城ロータリークラブ(大見宏会長)は、東日本大震災の被災地復興支援活動として、宮城県女川町で炊き出しを行つた。大見会長ら会員17人が現地を訪れ、町内2カ所で800食のうどんを無償提供した。また名古屋栄ロータリークラブから50万円の寄付を受けて、被災地への救援物資の購入に充てた。(安城)



現地を訪問した会員ら(前列左から4番目が大見会長)



安城市内で行った炊き出しの練習

女川町で炊き出し  
被災者の励みに